

平成24年度
実施事業

事務事業名	市民自治推進委員会経費
-------	-------------

区分	No	名称
章	6	担いあうまちづくり
節	1	協働のまちづくりの推進
施策	1	協働の仕組みの構築
小分類	1	市民参画の場の整備
主要な施策	3	③市民参加の場の提供
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 21 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	総務部	グループ名	企画調整グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 市民自治等に関する市民の学習機会の場を設けることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 市民自治推進委員会が行う市民を対象としたフォーラムの開催等を支援する。 【平成24年度事業実績】 市民自治フォーラム : 開催中止 ※平成24年度事業中止理由 委員会は、平成18年度の設置以降、市に対して6つの提言を行うなど、活発な議論により「まちづくり」に貢献されてきたが、平成24年5月22日開催の総会において提言「登別市市民自治推進委員会のあり方について」を決議し、同年6月1日に解散した。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 市民自治推進委員会を新たに立上げるとともに、「協働のまちづくり」に関する市民理解を図るため、市民等を対象としたセミナーの開催などをおこなう。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください) 登別市まちづくり基本条例

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称 地域活性化センター助成金、地域づくり研修会開催助成金	千円			413		
一般財源	名称	千円	0	0	501	914	914
事業費 合計			0	0	914	914	914

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 市民自治フォーラム等の開催回数	回	目標値	1	1	-	-	-
			実績値	0	0			
	② 市民自治フォーラム等の参加人数	人	目標値	100	100	-	-	-
			実績値	0	0			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
提言「登別市市民自治推進委員会のあり方について」において指摘された課題への対応を行い、条例の目的である「協働のまちづくり」を着実に進展できる体制構築が必要である。	提言「登別市市民自治推進委員会のあり方について」において指摘された課題に対応するため、市内まちづくり団体と意見交換を行うなど、新たな自治推進委員会の立上げに向けた調整をおこなった。 また、「協働のまちづくり」に関する市民理解を図るため、市民等を対象としたセミナーの開催などをおこなう。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="checkbox"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 協働のまちづくりを推進する機関である市民自治推進委員会の活動を支援することは必要と考える。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="checkbox"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input checked="" type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 市民自治推進委員会は市の憲法とも言えるまちづくり基本条例にその設置が謳われており、条例の理念である「協働のまちづくり」を実現するために必要な組織である。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="checkbox"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input checked="" type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 提言「登別市市民自治推進委員会のあり方について」において、委員会の運営における課題が明らかとなり、これを解決するために新たな事業を実施することで、事業内容等の向上が期待できる。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="checkbox"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input checked="" type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 平成24年5月22日開催の総会において提言「登別市市民自治推進委員会のあり方について」を決議し、同年6月1日に解散したことから、成果の把握は困難である。

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	新たな市民自治推進委員会の起ち上げを目指すとともに、「協働のまちづくり」に関する市民理解を図るため、市民等を対象としたセミナーの開催などをおこなう。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)